

## 専大校友を訪ねて

静岡朝日テレビ  
アナウンサー

笹村 朱里さん(令4ネット情報)

今年4月から、静岡朝日テレビの人気番組「とびっきり!しずおか土曜版」のMCを務める。1週間のニュースと静岡の魅力伝える4時間の生放送。入社4年目での大役に、MCは番組の顔。プレッシャーはあるが、それ以上に毎日が楽しくて仕方ありません」と目を輝かせる。

豊かな自然、おいしいグルメ、温かみある街の人たち……。番組では、県内の魅力を楽しく紹介する。ゲストとの軽快なトークを交えて番組を進行する笹村さんの表情はいつも笑顔にあふれている。「アナウンサーはリレーの最終走者。取材を受けてくれた方や制作陣の気持ちをつくみ、大切なバトンを視聴者に届けたい」と思いを述べる。

「地方局のアナウンサーは企画や取材もこなします」。趣味を生かし、自身発案のダイビングロケにも挑戦した。沼津市大瀬崎の海に潜る企画は好評で、放送後に多くの反響が寄せられた。

## 情報番組の顔 地域の魅力伝える

そんな笹村さんの次の目標は、平日の帯番組を担当すること。理想とする「地域の方に寄り添い、その声をすくい上げられるアナウンサー」を目指し、これからも笑顔で、努力と挑戦を続けていく。

採用も経験した。それでも心が折れなかったのは「アナウンサーになりたい」という強い思いがあったから。先輩たちにも「努力し続ければ、どんなに高い目標も必ず達成できる」とエールを送る。

就活時は10社連続での不採用も経験した。それでも心が折れなかったのは「アナウンサーになりたい」という強い思いがあったから。先輩たちにも「努力し続ければ、どんなに高い目標も必ず達成できる」とエールを送る。

「子どもの頃から見ていた芸能人と一緒に仕事ができるのもテレビ局で働く醍醐味です」。旬の食材を紹介する番組では、お笑いコンビ・ペナルティのヒデさん(平6法)と共演。経験豊富な先輩から、努力し挑戦することの大切さを改めて学んだという。

初の同窓会に参加した卒業生ら



## 男声合唱団 グリークラブ 初の同窓会

10月25日、神田キャンパスで男声合唱団グリークラブが初の同窓会(ホームカミングデー)を実施した。

当日はOB会の肥田英臣名誉会長(昭40経済)をはじめ、顧問の奥村経世経営学部准教授、常任指揮者の村上裕昭さん、卒業生と現役生らが参加し、世代を超えて交流した。

思い出話に花を咲かせたほか、歴代指揮者の指揮で『いざ起て戦人よ』『自由の歌』『希望の島』を全員で合唱。心と声を一つにした久しぶりのハーモニーに、歌い終えた瞬間には自然と拍手が起った。

## 盛況 校友会ワイン大学開催

11月21日、今年で17回目となる校友会ワイン大学が神田キャンパス10号館の相馬永胤記念ホールで開催されたII写真。

ワイン大学は校友会が準会員である学生との交流を目的に実施している人気のイベントで、今年は申し込み開始からわずか1時間足らずでキャンセル待ちとなるほどの盛況ぶり。

在学生約80人のほか、大学関係者、育友・校友ら総勢約120人が参加する盛大なパーティーとなった。

当日は、ソムリエである講師の江畑進一氏が「ワインの熟成」をテーマに、初心者でも分かり



やすいように講義。普段なかなかできない数種類のワイン飲み比べや食事

## 教育学会 第73回大会

小中高校の教員や教育界で活躍する卒業生らでつくる専修大学教育学会(馬場杉夫会長)の第73回大会が11月23日、神田キャンパスで開かれた。

今回は「地域と学校をつなぐ教育の可能性」をメインテーマに、学校での教育とは別に行われる

社会教育に着目。東京学芸大学教育学部の倉持伸江准教授による「未来をつくる学び―学校教育×社会教育 協働のチカラ」と題した講演と、2人の卒業生による実践報告が行われた。

正会員に加え、準会員である教職課程を履修する学生ら約300人が出席し、これからの教育現場が抱える課題についての意見を交わした。



多くの会員、学生らが熱心に聴講

## 校友会情報

25年度秋の叙勲・褒章

◇瑞宝双光章  
野崎平氏(昭54商・滋賀県) 調停委員功労

## 選挙結果

▽香川県観音寺市長(11月16日投票)  
佐伯明浩氏(昭58商) 2選

※校友会に関するお問い合わせ「校友会事務局」  
TEL 03・32605・7579

高校生たちが白熱した審理を行った



## 高校生が白熱の審理

付属3校 公開模擬裁判

専修大学附属高校、専修大学松戸高校、専修大学北上高校の生徒56人が審理の結果、裁判官の判決に参加した公開模擬裁判(エクステンションセンター主催、東京弁護士会協力)が11月15日、神田キャンパスの法廷教室で開かれた。公開模擬裁判の開催は今年で29回目。

附属高生と松戸高生が裁判官、検察官、弁護人を、北上高生が刑務官と廷吏役を担当し、それぞれ本職の弁護士から指

導を受けつつ、窃盗罪の審理を行った。白熱した審理の結果、裁判官の判決は有罪、裁判員(審理を傍聴した生徒)は無罪という結果となった。

参加した生徒からは「質問の内容及次第で判決に影響すると感じた」相手の主張を想定しないと「いけないのは大変」「いろいろな視点で物事を見ることが大切だと感じた」などの感想が寄せられた。

## 「沼」の効用

「沼」という言葉を耳にすることが多くなりました。これは好きなことにはまり、そこから抜けられないことを泥深い沼地に喩えたものです。価値観が多様で標的を絞りにくいZ世代へのアプローチ法として顧客を沼らせることが有効とされ、企業の関心が高いことがあるのかもしれません。こうした「沼」にはどんな良いことがあるのでしょうか。はまっている方からすれば抜け出せないのですから余計なお世話かもしれませんが、考えてみましょう。

ある商店街の理事長さんは年間150本ほど映画を見ているという話でした。その商店街では消防署などと協力して、子どもたちに制服を着て専用車両に乗ってもらい、記念撮影をするイベントを行い、好評なのですが、実はこれも見た映画『異動辞令は音楽隊!』(主演:阿部寛、2022年)がヒントになっているとか。

このように好きなことは仕事に役立つことがあ

ります。役に立てることが目的ではありませんが、結果として役立つことは確かです。そもそも仕事に直接役立たなくとも、気晴らしや精神的な拠り所になります。あと強調したいのは、好きなことであれば、頑張れるし、何か課題が出てきても解決するまでとことん考え抜く経験を積むことです。スポーツや音楽などで夢中で練習に励んだことがある人なら覚えがあるのでないでしょうか。問題が発生してもそれを切り抜けるため、解決策を必死で考え続けるのは好きなことでは日常的なことです。この経験が勉学や仕事では重要になります。さまざまなやり方を試し、四六時中考え続け、あらゆる人脈にあたる経験は社会での問題解決に必要となる経験です。

皆さんも何かはまれる「沼」を見つけてみませんか。

(学生部委員・川野訓志)



## 緑地帯